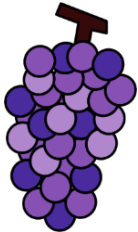




佐工だより

佐賀県立佐賀工業高等学校 総務部発行 第325号 (2019年9月)



今年是全国総合文化祭というめったにない機会に恵まれ、思い出に残る夏になりました。長い夏休みが終わった今、充実した心持ちの人、少し後悔している人、提出する宿題のことで振り返っている場合ではない人、生徒諸君の心はさまざまでしょう。それでも新学期はわくわくします。皆、一様に新たな気持ちになっていることでしょう。

9月。朝夕は過ごしやすく、日中の日差しも秋らしくなりました。まだしばらく暑い日もありますが、勉強にスポーツ、文化活動に最適な季節です。張り切っていきましょう！

高祖君 金賞おめでとう！ 第14回若年者ものづくり競技大会

7月31日、8月1日の両日、マリンメッセ福岡などで第14回若年者ものづくり競技大会が開催され、本校からは昨年の高校生ものづくりコンテスト九州大会・電気工事部門で優勝した電気科3年高祖拓実君（千代田中）が出場しました。「若年者ものづくり競技大会」とは、技能を習得中の20歳以下の若者の技能レベルを競う競技会で、技能五輪ユース大会とも呼ばれるたいへん大きな大会です。当部門の出場選手は25名。1人の審査に1時間ほどかかるため、競技当日には結果は出ません。そして待ちかねた知らせが8月2日の午後3時過ぎに届き、それまでしんと静まりかえっていた職員室が喜びに沸きました。堂々第1位の金賞並びに厚生労働大臣賞です。



私は若年者ものづくり競技大会に出場して、去年の高校生ものづくりコンテスト全国大会の雪辱を果たすことができ嬉しく思います。競技前はそれほど緊張はしなかったのですが、競技中にはネジを落としてしまいました。少し焦りましたが作品を完成させることができました。

私はものづくりを通して多くの人に支えられていることを改めて知ることができました。多くの人々の支えがあったからこそ、若年者ものづくり競技大会で金賞を取ることができたと思います。

今年度の九州大会では鷹巣祐誠君（電気科3・諸富中）が優勝し、来年度の出場権を獲得しています。下級生諸君の中から出場者が選ばれることとなります。さあ、先輩に続け！

2019さが総文 大成功！

この夏は、7月27日から8月1日までの日程で全国総合文化祭（2019さが総文）が佐賀県で開催され、全国から約二万人もの高校生がやってきました。図書部、新聞部、美術部の部員諸君、郷土研究部門の運営委員に名乗りを上げて参加した諸君はそれぞれの部門で準備から本番まで、大会運営の重要な部分を担いました。また、部門外の文化部員、運動部員も大会運営協力員として参加しました。

新聞部門 メートプラザ佐賀に全都道府県の代表校の壁新聞がずらりと展示され、それぞれに味わいのある充実した紙面に感心することしきりでした。同時に、隣接する勤労者体育センターでは、全国から集まった141校の生徒諸君が佐賀にまつわる12のテーマに分かれて取材し、協力して新聞を作成しました。本校の新



佐賀のマスコット「あさぎちゃん」と来年の開催県・高知のマスコット「土佐なる子」

聞部員は、研修取材のガイドのほか、新聞の印刷・製本などさまざまな仕事をまかされ頑張って取り組みました。新聞部員諸君の声です。



閉会后、他校の生徒が去ったあとも、製本作業を頑張ってくれた新聞部員諸君

今回、東与賀の取材コースを担当しました。コースガイドとしての司会が難しかったです。予定通りに進めないことがあって、その時はとても焦りました。(ケ3年・荒巻慶吾君) 小城の取材では自分たちが様子を見て時間配分していました。初めての体験で緊張しましたが、皆さん早めに動いてくれてスムーズに進めることができました。(部長・ケ3年・末次直樹君) 小城コースのリーダーとして、次の場所への案内などがスムーズにできなかったこともあり、全国から来た人たちをまとめ、的確な指示を出すのはすごく大変でした。実行委員として行動してみ、とっさに判断する力がついたかなと思います。(総文祭リーダー・ケ3年・徳島拓海君) 全国の高校生に佐賀の良さを知ってもらうため、会場の準備や取材での案内を頑張りました。たくさんの人に指示を出したりまとめたりするのは大変

だったけれど、とてもいい経験になりました。(テ3の2・丸山慎平君) 他県の生徒に渡す資料や道具の準備がとても大変でした。(ケ1年・中村凌君)

文芸部門 県内3か所を10台のバスで巡る、文学散歩が行われました。ここでは本校図書部の生徒諸君は佐賀市コースの4台のバスを担当し、ガイドを務めました。そのうちの一人、池田樹君(シ2の1)は「まず武雄市から佐賀市へ行くまでの間に、参加者の自己紹介も兼ねて、各都道府県の方言を披露してもらいました。私達バスの案内係は、まず佐賀弁係が話し、その後標準語係がそれを標準語で言いなおす形で案内をしました。」と、その時の様子を話してくれました。



マイクを握る図書部員

図書部顧問の式町都茂子先生の言葉です。「スタッフとして与えられた役割をよく

果たしたと思います。接待係は講師の先生方からお褒めの言葉をいただきました。ツアーガイドは、前日に入念なりハーサルをして本番に臨みました。私は持ち場が違うので実際のような様子を見ていませんが、ガイドを終えて帰ってきたときの生徒の顔がキラキラしているな、と目を見張りました。他校の先生方から『佐工生、立派なガイドぶりでしたよ』と声を掛けられ、なるほど、大きな役割を無事果たして自信をつけたんだなと嬉しく思いました。」



布に描かれた絵を天井に飾る美術部員諸君

美術・工芸部門 全国都道府県から代表として選ばれた作品を展示する展覧会が県立美術館で開催されたほか「カードゲーム」での交流や研修講座が企画され、本校の美術部の諸君も展示やお出迎え、受付など、いろいろな仕事を担当しました。「カードゲーム」は、初めて顔を合わせる参加者が小グループに分かれて親

しくなるためにする活動で、各グループに美術部員スタッフがついてゲームを進めました。堤悠馬君(シ2の1)は「ゲームのやり方は、伝わりやすいよう自分なりに工夫して説明しました。中心になって進める役割なので、初めて会う人とどうやってしゃべればいいのかも事前に考えていました。実際に交流したら、みんなよくリアクションしてくれて盛り上がったので嬉しかったです。頑張った甲斐がありました。この総文祭はいい経験になりました。」と感想を述べてくれました。

郷土研究部門 「日本磁器発祥の地」有田を会場として、7月29日から3日間の日程で研究発表大会、パネル展示のほか、有田焼の魅力や佐賀県が誇る郷土の歴史・文化を学ぶ巡検研修を行いました。郷土研究部がない本校では有志を募り、名乗りを上げた野口菜都さん(テ3-2)と井口勇佑君(シ3-2)の2名が企画・運営に携わり、大いに活躍してくれました。

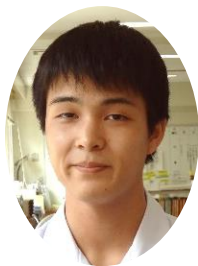
* * * * * * * * * * * * * * * *

遅い梅雨明けのあとの連日の猛暑の中、運動部の諸君も準備から本番、後片付けに大いに働いてくれました。諸君が裏で大会を支えてくれたからこそそのさが総文大成功だったと思います。



ライフル射撃競技 芳司健太君にインタビュー

第57回高等学校ライフル射撃競技選手権大会が7月28日(日)から31日(水)の日程で広島県で開催され、機械科3年の芳司健太君(城南中)が最終日の個人戦に出場しました。佐賀県には射撃部のある学校がなく、皆さんには馴染みがないと思います。そこで、芳司君に射撃競技についてインタビューしました。



—全国大会はいかがでしたか。

13位という結果に終わりました。優勝を目指していたので残念です。暑さと緊張の中での闘いでした。

—高校生がライフル射撃をしているとは佐賀では聞きません。皆にどんな競技なのか紹介してください。

空気銃を使って、10メートル先にある的を射ます。的は直径4.5センチの黒丸で、その中心の0.5ミリの白い点に弾を当てます。白い点は撃つ位置からは見えません。中心から

外れるにしたがって点が低くなります。

—0.5ミリというとシャープペンの芯の太さですね。そんなに小さな的の中心には、どのくらい当たるのですか。

60発のうち55発そこに当たれば上位に入れます。

—60発の競技ということですが、時間はどのくらいかかりますか。

制限時間1時間15分の内に60発撃ちます。私はだいたい1時間くらいです。

—ということは1分間に1発ということですが、随分時間がかかりますね。

弾は1発ずつ込め、連射はできません。弾を込め、銃を構えて狙いを定め、集中して撃つ。これを60回繰り返します。

—銃の重さはどのくらいですか？

約5キロです。狙いを定めるのには重さが必要なので重く作られています。

—いつから始めましたか。

小学6年の夏からです。父の知人に地域のクラブを紹介されて始めました。

—どこで、どのように練習しますか。

総合運動場の射撃場で週に5日、2、3時間練習しています。いつも弾を撃つのではなくて、半分は空撃ちといって、構えの動作を繰り返し練習しています。

—楽しみはどんなところにありますか。

最初は的に当たれば嬉しかったのですが、今は試合が面白いです。また各地への遠征で県外の友人に会うのも楽しみです。

大学に進学後も競技を続けていく芳司君は、10月にある国体にも出場します。高校最後の大会での健闘を祈ります！



グッバイ、J先生！

J先生ことジャメル・マクニール先生は7月で本校の勤務を終えられました。終業式の日には本校の勤務日ではなかったため、皆さんにお知らせする機会をもてませんでしたので、お別れのメッセージをいただきました。



Hey guys,

I am very sorry to leave this school! I was very sad to finish teaching English, but you all were very funny students so I enjoyed my time here. Thank you for letting me join

(私を～に参加させてくれて)

Sports Day, speaking English with me, and always greeting me with a smile. I think you

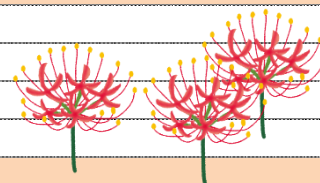
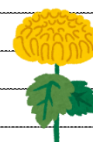
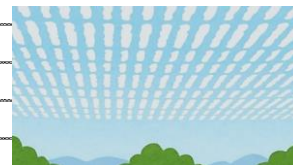
(挨拶)

are all very great individuals with super big hearts. Please continue to be amazing and I hope your
 (一人ひとり) (ずっとステキな人である)
 future has much success and happiness, ya'feel me?
 (成功) (=Do you feel me?)

Jamel McNeil

9月行事予定

日	曜	行事予定
1	日	第三種電気主任技術者試験
2	月	始業式
3	火	インターンシップ報告会(2年) 進路学年集会(3年)
4	水	模擬面接指導 スクールカウンセラー来校日
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	職業レディテスト(1年) 職業適性検査(2年) 就職試験激励会(3年)
11	水	
12	木	
13	金	基礎製図検定
14	土	↓
15	日	
16	月	敬老の日 就職試験開始
17	火	佐賀を誇りに思う教育推進事業講演会
18	水	教育後援会役員会・評議員会
19	木	月曜日の授業
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	秋分の日
24	火	佐工祭(体育祭)選手決め
25	水	スクールカウンセラー来校日
26	木	
27	金	月曜日の授業
28	土	
29	日	
30	月	中間考査(10月2日まで)



佐賀県立佐賀工業高等学校

所在地 〒840-0841 佐賀市緑小路1-1

TEL 0952-24-4356

FAX 0952-25-7043

(ホームページ)

<http://cms.saga-ed.jp/hp/sagakougyoukoukou/>

編集後記 長い準備期間を経て開催されたさが総文。佐賀市内の会場をいくつか見に行き、最終日の8月1日には百人一首カルタを見物しました。読手を務めたのは全国読手大会を勝ち抜いた高校生とのこと。「読手講習会」も開かれ、普段ただ棒読みしている筆者は、カッコよく読めるようになりたい!と、高校生に混じって講習会に参加し、「からくれなゐに一水くくる」とは」とメロディ付きで練習しました。でも学校では、諸君が「早く早く!」と下の句を待っていますから、披露できるかな?と思案中。お楽しみに! K